

## 初夏から夏の感染症

### 手足口病

年間通して  
発生しやすい

【こんな症状】 ウィルスが口から入って感染する病気です。手のひらや足の裏、口の中などに赤い発しんや米粒大の水ぼうができるのが特徴です。おしり、太ももなど広範囲に発しんがでることもあります。発しんの数は個人差があります。手足などにできた発しんは痛みやかゆみはありませんが、口の中の水ぼうはつぶれると痛むため、食欲が落ちたり機嫌が悪くなったりします。発しんは1週間ほどで茶色くなり消えます。また、場合によっては1～2日間の発熱や、下痢、嘔吐の症状が出ることもあります。

### ヘルパンギーナ

急な発熱と  
のどの水ぼう

【こんな症状】 0～1歳ごろにかかりやすい夏風邪の一種です。ウィルスが口に入り、38～40℃の急な発熱があります。特徴として口蓋垂（のどちんこ）周辺に小さな水ぼうができます。水ぼうの大きさは直径1～2mmのものが多く、場合によっては5mmもの大きな水ぼうができることもあります。水ぼうに触れると痛いので、よだれの量が多くなったり、機嫌が悪くなったりします。また、ミルクが飲めなくなったり、食事を食べたがらなくなったりすることもあります。1週間ほどで症状は治ります。近年では冬でも発症が見られる感染症です。

### 気を付けたい皮膚トラブル

皮膚トラブルは、「起こさせない」「広げない」「悪化させない」

※園では防虫剤や虫よけスプレーなどで予防しています。また園の周辺や散歩コースの害虫もチェックしています。

- 虫刺され・・・蚊などの身近な昆虫による虫刺されは、それほど大きなトラブルではありません。しかし、虫刺されによるかき刺しはとびひの大きな要因ですし、1～3歳頃は蚊に刺された部位が大きくなる傾向があります。
- とびひ・・・虫刺されも原因となり、皮膚にできた小さな爛やかき刺し炎症部分から感染し、発しんに触れた手で他の部位を掻くことで感染が広がります。



### 食中毒（集団感染症）

激しい下痢・  
突然のおう吐

【こんな症状】 食中毒の約90%が、細菌が原因となる細菌性食中毒です。病原菌が体内に入ってから1時間～数日で下痢やおう吐など、胃腸炎の症状を起します。発症までの時間や症状は、病原菌によって異なります。主な感染源として、サルモネラ菌・病原性大腸菌O-157・カンピロバクター菌・腸炎ビブリオ菌があり、ほとんどの感染源が過熱不十分な食材や生ものです。

### 咽頭結膜熱（プール熱）

3つの症状が  
あわせて出る

【こんな症状】 以前はプールで感染することが多かったため、「プール病」とも呼ばれています。38℃以上の高熱、のどのはれと痛み、目の充血の3つの症状が合わせてでます。高熱は3～5日ほど続き、せきがでます。扁桃腺がはれるため、のどが痛み、食べ物を受け付けなくなります。白目とまぶたの裏側が炎症を起し、目やにや涙が出やすくなります。目の症状は片方から始まり、両目に広がる傾向が多いようです。熱は数日で治まり、ほかの症状も1週間ほどで治まります。



園では・・・

- ・おもちゃ、床、ドアなど、しっかり除菌・消毒をしています。
- ・手洗いの徹底をしています。
- ・園で症状が見られた場合は、すぐに保護者の方に連絡し、小児科への受診をお勧めします。

伊予べんざん小規模保育園

